

環境思想部会

環境思想と人権の問題を語ろう！

趣旨

世界各地で人権の蹂躪が止みません。その目を国内に向ければ、5年前に起きた相模原「やまゆり園」での障害者殺傷事件、「いのちよりカネ」の東京五輪2020、そして名古屋の入管施設で起きた「ウィシュマ・サンダマリさんの死亡事件」など、そのどれもが日本・国民の人権意識の低さを暴露するものです。今年6月には改正国民投票法が成立し、改憲の現実が見えてきたわけですが、かように人権を理解できていない日本・国民にまともな改憲ができるとは到底思えません。環境問題との関係で言えば、7月の「熱海の土石流」は、産廃行政の無責任が招いた人災の可能性もあり、日常的に近隣住民の人権が守られていなかった問題ともいえるでしょう。この点は、リニア新幹線のトンネル工事に伴う残土が行き場を失い、谷あいに仮置きされている現状とも重なります。「アシオ」や「ミナマタ」の公害問題は言うに及ばず、「フクシマ」も正に人権問題であり、今また汚染水処理問題に揺れています。これらは「環境正義」の視点から環境思想でも取り上げられてきましたが、今回はその射程を人権、及び日本国憲法にまで広げ、来るべき改憲の日をにらみながら、環境思想と人権の問題を大いに語り合いましょう。

形態：座談会（話題提供者数名を指定）

司会：澤 佳成・穴見 慎一